

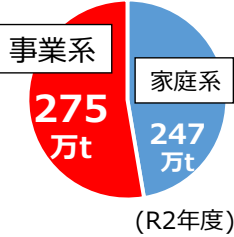
Kulife letter business くらしふ通信

ビジネス版

Vol.2

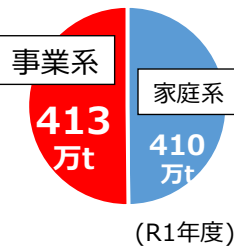
ごみの減量

事業ごみの大量廃棄が課題！



食品ロス

食品ロスは世界的な課題です。日本では、サプライチェーン（事業者）から発生する食品ロスが全体の半数以上を占めます。



廃プラスチック

廃プラは、リサイクルが難しい製品が多いにも関わらず、排出量が多いことが課題です。事業者のごみが半数を占めます。



CSRとしての事業ごみ減量

SDGs（つくる責任・つかう責任）の中で、事業者にはごみの減量が強く求められています。現在、サプライチェーンから排出される大量の廃棄物が全国的な課題となっており、個々の事業者の減量の取り組みが、今後、益々重要になってきます。事業ごみの減量は、CSRとして認識しておきましょう。

※ CSRとは、企業が果たすべき社会的責任をいいます。

事業ごみの処理手数料が上がります

倉敷市では、令和5年4月から事業系一般廃棄物の処理手数料を段階的に引き上げます。この機会に、ごみの減量に取り組みましょう！



ごみ減量のメリット



環境負荷の低減



経費の節減



企業のイメージアップ

ごみ減量の第一歩は分別！



オフィスでは、資源、産廃、一廃の3つに分けましょう！
産廃と一廃の違いが分からない方はコチラ



(オフィスでの分別回収箱の配置例)

古紙などの資源

産廃

一廃



作者註：この問題はただかごみ問題とよく似ていますね……

このイラストは、ハイムーン氏のもので、働き方改革とごみ減量の課題の特徴をよくとらえています。

これからのライフスタイルとして、働き方とごみの出し方、どちらも見直す時期が来ているのかもしれません。



今日の豆知識

ごみと働き方

ごみは人の活動に伴って出るため、ごみの量と働き方は密接に関わっています。ごみを減らすには、インプットの見直しも大切です。